

事業計画書（対象エリア内既存事業者）

1. 事業者の概要

事業者	名称： 御菓子屋 風子 代表者： 串間 風子 住所： 串間市大字西方0000	
担当者	氏名： 串間 月子	
	E-mail： fuuko@kushima.jp ※メールで連絡するため、常時連絡できるアドレスの記載をお願いします。	
	電話： 0987-72-0000	FAX： 0987-72-0000
業種	菓子製造業	
	許認可その他法律に基づく資格の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有（ 食品衛生責任者・菓子製造業許可 ） ・ 無	
従業員数	正社員 1 名（内 家族 1 名） パート・アルバイト 1 名（内 家族 名）	
現在の事業概要	<p>現在の取扱商品（サービス）・ターゲット・営業時間・営業状況・セールスポイント等について、具体的な記載をお願いします。</p> <p>商 品：和菓子・洋菓子（自家製） 営業時間：午前10時から午後5時まで 営業日：火～日（定休日：月曜日）</p> <p>開業してから30年。開業当初から、甘藷を使ったスイートポテトが（1日100個）最も売れている。 和菓子は贈答用としての販売が多く、洋菓子は記念日での販売が多い。最近は、コンビニスイーツ等の影響を受け、販売が下降気味である。</p> <p>◆取扱商品（サービス）数（和菓子20個・洋菓子30個） ケース陳列平均個数</p> <p>◆来客数（50 人 / 月 ・ 週 ・ <input checked="" type="checkbox"/>日）</p>	
事業内容	<p>①補助金を活用して事業に取り組む理由、きっかけについて、記載をお願いします。</p> <p>今までは、主に市内を対象にしていたが、道の駅への来場者までターゲットを広げ、市外からのリピーターを増やしたいと考えているため。</p>	

	<p>②補助金を活用して事業に取り組む内容について、記載をお願いします。</p> <p>新商品となるプリンの製造。 今まで取扱のないプリンに新たに取り組む。 すぐに食べられる(食べ歩き)プリンと串間土産として的高级プリンの2商品に取り組む。 食べ歩きプリンは、通常のカップ容器ではなく、歩きながら食べられる(クレープ状のようなもの)プリンという今までにないものを作る。 高级プリンは、容器・包装にも力を入れることで、これまで見たことがないレベルのプリン作りに取り組む。</p> <p>③補助金を活用して事業に取り組むことで、期待している効果について、記載をお願いします。</p> <p>市外者への販売拡大。 和菓子が主力だった贈答用にこのプリンを加えることで、贈答用の選択肢を増やす。</p> <p>◆新たに取り組む商品(サービス)数(2個) ◆目標売上(金額・個数・利用者数・率) (いつ頃まで：3年後)(1日売上個数300個→350個)</p>
連 携	<p>仲町商店街の他店舗又は整備予定の「まちなかの道の駅(仮称)」と連携してできるアイデアがあれば、記載をお願いします。</p> <p>串間市には3店舗お菓子屋があるので、道の駅も加えた形でのお菓子スタンプラリーを開催。4つの季節で4つの店舗のお菓子を楽しむ仕組みを作る。</p>
将 来	<p>事業実施10年後の将来像について、記載をお願いします。</p> <p>ネットショップを立ち上げている。 ネットショップ限定商品、店舗限定商品を作り、インターネットで店を知った人が串間を訪れるきっかけとなり、逆に、店舗にてインターネット情報を知った人がネットショップも利用するきっかけを作る。</p>

2. 事業取組前後の損益計画

(単位：円)

区分	事業取組前	事業取組 1年目	事業取組 2年目	積算根拠
①売上高	1,000,000	1,050,000	1,250,000	月平均で積算 ・売上高:1,000,000円 客単価:1,000円 客数:50人/日 営業日数:20日 ・原価率:40% ・人件費 アルバイト1名 時給:800円 日数:15日
②売上原価 (仕入高)	400,000	420,000	500,000	
③売上総利益 (①-②)	600,000	630,000	750,000	
④経費合計	310,000	250,000	270,000	
人件費	100,000	100,000	120,000	
光熱水費	30,000	30,000	30,000	
通信費	50,000	20,000	20,000	
広告宣伝費	30,000	50,000	50,000	
その他経費	100,000	50,000	50,000	
利益 (③-④)	290,000	380,000	480,000	

※個人事業の場合、人件費に事業主分は含めないでください。

※参考資料があれば添付してください。

3. 補助事業活用計画

◆交付申請額内訳【上限：80万円】

(単位：円)

補助対象項目	補助対象額	補助率	交付申請額
① 外観改修		65%	
② 店舗賃借料			
③ 広告PR			
④ 商品開発	1,000,000		475,000
⑤ 資格取得			
⑥ 販売促進	500,000		325,000
合計額	1,500,000		800,000

※交付申請額は、項目ごとに1,000円未満切り捨てとします。

※補助対象額として交付申請する項目のみ記載してください。

※見積書等経費の内容と金額が確認できる書類を添付してください。

◆補助金を活用して取り組む内容・スケジュール（項目ごと）

3項目以上に取り組む場合は、コピーして記載してください。

補助対象項目	①～⑥のうち取り組む項目を1項目記載してください。 ④商品開発
内容	食べ歩きプリンと高級プリンの開発・試作を行う。 →フードビジネスセンターを活用して、専門家への相談を及び試作開発を予定している。
スケジュール	2019年 10～2月：プリン試作（他商品研究・専門家相談・試作） 2020年 10～2月：パッケージ試作

補助対象項目	⑥販売促進
内容	物産展に出展する。 当店の商品とともに、2～3品まで絞り込んだ試作品を店頭に並べて反応を確認する。
スケジュール	2020年 1月 物産展出展

◆補助金を活用して取り組むことにより期待している効果

「プリン」は、ファンも多いが、商品数も多い。
フードビジネスセンターを活用して、専門家のアドバイスを受けながら、自分のお店だけでは試作はできないと思われる様々な可能性を試したい。
試作の段階で、物産展等に持って行き反応を確認することで、プリンの完成度を高めたい。

◆まちなか創生事業補助金以外に活用する補助金・助成金等

金額 500,000 円

内容

小規模事業者持続化補助金を活用して、店舗内陳列レイアウト改良を行う。

◆翌年度に取り組む計画

翌年度において販売力強化に取り組む計画（内容・金額）を記載してください。

初の試みとなるTVCMを製作したい。(約 50 万円)

大きな展示会に出展したい。(約 50 万円)

翌年度も、補助金申請する意思がありますか。

有

・

無

4. 補助事業活用収支計画

◆収入

科 目	金額 (円)	資金の調達先
自己資金	200,000	
市の補助金	800,000	
借入金 (金融機関)	500,000	〇〇銀行
その他 ()		
合 計	1,500,000	

◆支出

科 目	金額 (円)	積算明細
①外観改修		改修工事費等
②店舗賃借料		家賃
③広告PR		ホームページ製作費等
④商品開発		デザイン製作費等
専門家謝金	100,000	専門家現場確認指導
商品原材料費	300,000	プリン試作開発
パッケージ等材料費	300,000	容器・パッケージ試作開発
デザイン委託費	300,000	パッケージデザイン
⑤資格取得		受験料等
⑥販売促進		販促品製作費等
物産展出展料	200,000	
運送料	140,000	
備品リース料	150,000	
消耗品	10,000	
合 計	1,500,000	

※交付申請する項目のみ、項目ごとに記載してください。